

室戸支所管内より



## 嬉しくて飛びついちゃうよ!

マロちゃん(7)  
飼い主：田所 栄造さん

家族みんなが愛犬家の田所家。生活にはいつも犬と一緒に、マロちゃんは8代目です。旧JA土佐あき広報誌「あきあいあい」の1995年5月号では、5代目のパグ犬のトムが家族と一緒に表紙を飾りました。

大人しくて、人懐っこいマロちゃん。初めて会った人にも、飛びついてじゃれ合っています。おやつをくれる近所の人を見かけたら、「来て！来て！」と吠えて猛アピール。お出かけしたい時やご飯を食べたい時などは、「クーーン」と可愛く鳴いておねだりします。

「犬は人間の言葉が分かるし、友達みたいになれるから大好き」と妻・千保さん。千保さんに甘えるマロちゃんは、とっても幸せそうでした。

## 動物園が大好き♪

岡村 莉子ちゃん(3)  
芽依ちゃん(1)

父・朋紀さんのピーマンのハウスで、お揃いのワンピースを着て登場してくれた岡村姉妹。莉子ちゃんは、好奇心旺盛な女の子。虫なども怖がらず、いろんなことに興味深々です。絵を描くことが好きで、最近はアンパンマンとバイキンマンが上手に描けるようになりました！お友だちと遊ぶのも好きですが、自分の世界観を持っており、1人の時も“莉子ワールド全開”です。

芽依ちゃんは、“パパ、ママ、バイバイ”などが話せるようになりました。今は何でもお姉ちゃんの真似をします。歩けるようになったので、自分でおもちゃや絵本を選んできて遊んでいます。2人は動物が大好きで、のいち動物公園やわんぱくこうちがお気に入り。ウサギやモルモット、カメなど動物との触れ合いを楽しんでいます。

芸西支所管内より



安芸  
地区

# から こんには 今月の○○ 気になる人

中山事務所管内より



## 地域を元気にしたい

竹内 幸恵さん(65)

安田町正弘にある「味工房じねん」の代表を務める幸恵さん。地域の特産品作りを行うグループ「なかやま山菜工房」のメンバーで、10年以上代表として店を引っ張っています。直販所には、地域の新鮮野菜のほか、田舎寿司やお弁当など加工品が並びます。食堂では、モーニングとランチを提供。一番人気は、親子丼の上すりおろした自然薯とむかごのつた「じねん丼」です。11月と12月は、期間限定で「山芋汁」もメニュー入り。「中山の自然薯は、ねばりが強くて美味しい」と町外から訪れる人にも好評です。6月には、安田川の鮎を使った「鮎の塩焼き」や「鮎寿司」も登場します。

「コロナ禍で大変だったので、人が集まってきて嬉しい。地域の人の助けになって、町を元気にしたい」と笑顔が輝いていました。

定休日／第3木曜日 営業時間／6:00～15:00  
ランチラストオーダー14:00

一番人気のじねん丼(単品850円)と  
期間限定の山芋汁(単品300円)

## 農業以外イメージできなかった

門田 篤幸さん(19)

「農業以外の仕事をしている自分がイメージできなかった」と真っ直ぐに話す篤幸さん。小学生の頃から、父・祥正さんと母・味樹さんのナス栽培を手伝っているうちに自然にそう思うようになりました。農業を学ぶためと中学から打ち込んでいる駅伝をしないと、高知農業高校へ入学。農業総合科で主に草花について学び、卒業後すぐに親元就職しました。

農家としてスタートしたばかりの篤幸さん。休みもなく、まだ自由な時間もとれないなどしんどさも感じますが、今は祥正さんから栽培管理を教わりながら技術を身に付けることが最優先です。「早く1人でもできるように、知識と経験を重ねたい。高校で学んだこともナス栽培に繋げていきたい」と話す篤幸さんの今後の活躍が楽しみです。

奈半利支所管内より





# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

## 5 地区本部

### 観光列車でおもてなしに感激



地域住民のおもてなしに手を振る部員

女性部は11月7日、県内で「女性大学ときめき学園」を開き、部員や地域住民20人が参加しました。部員は、道の駅なかとさとJ A直販所みどり市での買い物や岩本寺の散策後、観光列車「志国土佐 時代の夜明けものがたり」へ乗車。窪川駅〜高知駅間、地域住民のおもてなしや地域の特産品が詰まった「土佐流のおもてなしコース料理」を堪能しました。部員は「安芸駅に観光列車が来たときも負けずにおもてなししたい」と刺激を受けました。

## 3 安芸ユズ加工場

### 三山さんが農家とユズ収穫



番組収録に挑む、土佐かつおさん◎と三山さんⓄと小松さん

安芸地区のユズ農家は11月11日、安芸市で高知放送のミニ番組「産直！ ゆずレター」の撮影に挑みました。「まっことゆず」のTVCMソングを歌う三山ひろしさんが登場。三山さんは、農家の小松正博さんと賑やかに収穫を楽しみました。三山さんは「昔は家でユズを搾っていたので、懐かしい高知の味。「まっことゆず」はお鍋やカツオにもぴったりで、一家に1本は欲しい」と太鼓判を押しました。番組は12月に3週連続で放送されました。

## 6 安芸集出荷場

### 香美地区農家と意見交換



伊東さん◎と意見交換する参加者

安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会の女性生産者は11月2日、香美地区で現地検討会を開き、生産者7人が参加しました。同地区でトマトを栽培する新田益男さんとナスを栽培する伊東正人さんのハウスを訪れました。参加者は、栽培管理や品種について熱心に耳を傾け、「つるのおろし栽培は大変ですか」「お竜の摘葉はどのようになっていますか」など質問していました。「他の人のハウスの中は学びが多い」と学びとっていました。

## 4 地区本部

### 地域を担う農家の思いに触れる



千光士さん◎からカンキツ栽培について教わる部員

園芸女性部は11月4日、安芸市で現地検討会を開き、6支部から14人が参加しました。(株)アグリード土佐あきとカンキツを栽培する千光士尚史さんの圃場を訪れました。部員は、ナスつるおろし栽培のメリット・デメリットや地域のカンキツ栽培の現状などについて学び、ユズの収穫も体験しました。小松愛子部長は、「これからの地域を担う農家の思いにも触れることができ、良い機会になった」と話しました。

芸西支部園芸部ナス部会は11月12日、機能的表示食品「高知なす」PRイベント「三山ひろし「高知なす」を食す！」を南国市で開きました。高知なす宣伝隊長の演歌歌手三山ひろしさんが「高知なす」を使った料理7品を試食。レストラン「グドラック」で提供するメニューを選びました。イベントは、同部会が企画。農家自らが企業などに声を掛けて協賛金を募り、市内外31社の協力で実現しました。三山さんは、レストランの八松右一副総料理長が用意した料理を試食。「高知なすの浅漬けサラダ」「高知なすバーグ」「高知なすのイタリアンモンスター煮込み」の3品を選びました。3品の単品と、3品全てが入った「三山御膳」を1月10日から3月31日まで提供します。三山さんは「料理を食べ、ふるさとはこんな美味しいものがある」と感じてもらえれば嬉しいと話しました。同部会の清遠力生部長は「消費者に「高知なす」を選んでもらえるように、産地が一丸となって積極的なPRを続けていきたい」と強調しました。



上：高知なす料理を試食する三山さんⓄ  
下：◎から浅漬けサラダ、なすバーグ、イタリアンモンスター煮込み

## 1 安芸宮農経済センター

### 三山さんいちおし！高知なす料理南国市グドラックで提供開始



「かかしのお家」をオープンした昌子さん◎、繁美さん◎、薫美さん

## 2 あき東支所

### 手作りかかしでお出迎え 昔の農機具約30点も展示

安芸市伊尾木岡の乾昌子さん、乾繁美さん、山本薫美さんから地域住民は、近くの伊尾木洞を訪れる観光客らに楽しんでもらおうと、手作りのかかしや昔の農機具を展示する「かかしのお家」をオープンしました。昌子さんと乾繁美さんは2018年から、北川村「かかしの里」を作った人にかかし作りを習い、翌年から地域での展示を開始。洋服や帽子は地域住民の着なくなった物を使用しています。現在は「かかしのお家」や田んぼなどに20体以上を飾っています。

昌子さんは今年、納屋に長年眠っていた農機具も展示したいと、1つ1つ丁寧に洗い、磨き上げました。薫美さんが展示用の解説パネルも作り、唐箕や石臼、千歯扱、醤油樽、蚕葉入れ器など、100年以上前のものも含む農機具約30点を展示しています。「かかしのお家」を訪れた人からは、「懐かしい」「癒される」などの声が届いています。昌子さんは「大切に保存してきたので、観光客や地域の人にとくさん見てほしい」と訪れる人との交流も楽しみにしています。



# えいのう〜



## 栽培管理

# ナス

ハウス内をよく観察し、灌水・温度・肥培管理に十分注意しましょう。

### 【整枝・光環境】

二重内張りを開けるとともに、一芽切り戻しを徹底して、ふところの採光性を高めましょう。

### 【凍障害防止】

収穫後の果実は7℃以下の低温に遭遇させないように保管しましょう。

### 【単花処理】

ハチの飛びが悪い時や最低夜温が12℃を下回る場合は、単花処理を行います。

### 【灌水・追肥】

灌水は、1〜3日を目安に過湿にならないよう注意しながら日射量の増加に応じて徐々に増やします。灌水は、蒸散が始まる日の出2時間後を目安に行い、成り込んだ場合、1回の灌水を増やせずに回数を増やします。追肥は、1ヶ月当りの施肥量は10アル当りチソン成分で4〜6kgを目安とし、1回当りの量は灌水間隔によって調整しましょう。

【苦土対策】  
水200Lに1kgの硫酸マグネシウムを10日ごとに葉面散布しましょう。

### 【温度管理】

昼間は26〜29℃を目安に管理し、樹勢を見ながら調整します。花粉の稔性を確保するため、夜温は実温で12℃を確保、加温ムフがないようにダクトを配置しましょう。

### 【CO2管理】

日中に大気レベル濃度400ppmを下回らないようにCO2施用しましょう。

### 【病害虫防除】

黒枯病・すすかび病・灰色かび病対策  
・ハウス内を低温多湿にしない。最低夜温12℃を維持するように加温する。  
・こまめな整枝、摘葉の実施で樹勢を弱らせない。また、ふところを過繁茂にしない。発病した葉や茎はハウス外へ持ちだす。  
・花抜きを行い、ハウス外へ持ち出す。  
・耐性菌発生防止のため、ローテーション散布をする。

## 土作りについて

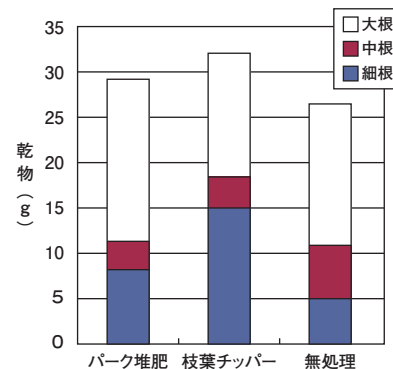
# カンキツ

樹勢を適正に維持するため、土づくりをしっかり行い、根が伸びやすい環境を整えましょう。

近年、温暖化による過乾燥や除草剤の使用などにより、土壌が固く締めまり根が伸びにくい土壌が多い傾向にあります。カンキツの根は酸素要求量が多く土の中で活発に呼吸を行っています。活性の高い健全な根を増やすには土壌を柔らかく、水はけが良好でかつ過乾燥にならない状態（団粒構造が発達した状態）に保つことが大切です。

有機物を施用すると、腐植が補給されることで土壌の団粒構造が促進され、膨潤な状態に維持されるため、根が活動しやすい状態になります。有機物には多くの種類があり期待される効果が違うので、園地にあった資材を使用して下さい。例えば土壌が固くなっている場合は、比較的分解の遅いバーク堆肥やもみ殻燻炭などをスポット的に土と混和することで、物理性が改善され細根が増加します（第1図）。

また、せん定枝葉をチップ処理したもののスポット施用は、細根増加の効果が著しく高まるので、焼却せず有効利用を図りましょう。



第1図 有機物のスポット施用による根の生育促進効果



安芸管農経済センター 管農指導課 山影 学

# ナスの「カイゼン」の取り組みについて

公文 省吾

振興センターだより

安芸農業振興センター088713410138

安芸農業振興センターでは、農作業の省力化や身体的負担軽減のため、作業工程の「カイゼン」に取り組んでいます。今回は、令和3園芸年度に促成ナス栽培で行った実証試験についてご紹介いたします。

## 取り組みの背景

安芸地区の促成ナスでは、環境制御技術を導入した農家の、約7割の方が増収を実現しています（平成30年JA調べ）。一方で、収量の増加に伴い、3月以降の労力不足が顕在化しており、農作業の効率化・省力化が課題となっています。

そこで、振興センターでは、労働時間の約76%を占め、機械化が困難な収穫作業、整枝・摘葉作業の「カイゼン」に取り組みました。

## 下位側枝摘除による収穫作業、整枝・摘葉作業のカイゼン

ナスでは果実を収穫すると同時に、側枝を二芽残して切り戻す整枝方法に



写真1 これまでの収穫作業姿勢



写真3 下位側枝を摘除した時の収穫作業姿勢

改善策として、下位側枝（下から2節を目安）を果実収穫後に基部から摘除する整枝方法の実証試験を行いました（写真2）。



写真2 下位側枝を摘除した時の様子

## カイゼンの結果

下位側枝を摘除すると、膝付近の高さでの作業が無くなり、前屈みになる姿勢が減り、身体的負担が軽減されました（写真3）。

また、収穫できる下位側枝を摘除することで、収量が減少するおそれがありました。今回の実証では、他の側枝での収穫果実数が増えたことにより、下位側枝を摘除しない慣行区と比べ、103%の収量となりました（図1）。下位側枝摘除を行った複数の生産者からは、「作業が楽になった」、「収量の減少は気にならなかった」という評価がありました。

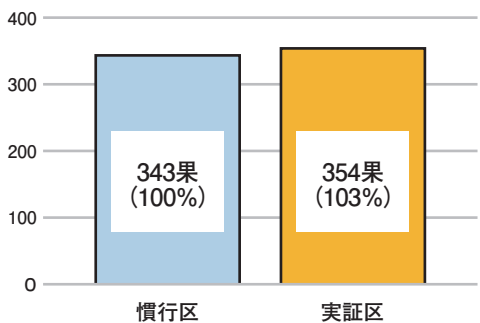


図1 整枝方法の違いによる1株あたりの可販果収穫果数の差 調査期間：令和2年9月〜令和3年5月

促成ナス栽培では、かん水や天窓の自動開閉などの自動化・機械化が進み、以前に比べると効率化・省力化が進んできました。しかし、環境制御技術の導入が進み、収量が増加する中、各作業工程の、さらなる効率化・省力化が必要です。「もっと楽しく、もっと楽に、もっと稼げる」栽培を目指して、一緒に「カイゼン」に取り組んでみませんか。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

地域の魅力を引き出す広報のチカラに全力応援です。TV放送での発信、PRも楽しい企画ですね。友人、知人にも教えてあげたいです。頑張ってくださいませ。

(あき北支所・71歳)

▼全力応援ありがとうございます！  
広報誌だけでなく、様々なメディアや媒体で皆さんに楽しんでいただけるようにPRを頑張ります！

関西に住んでいる娘から連絡があり、「TVからいきなり土佐弁が聞こえてきた。まっことゆずのCMやった」と思いがけない土佐弁に嬉しそうでした。

(あき東支所・68歳)

▼娘さん、TVから流れるコテコテの土佐弁に驚いたでしょうね。「まっことゆず」も味わって、故郷を懐かしく思い出していただけたら幸いです。

三山さんのCMソングを聴いて、「まっことゆず」を早速購入！いろいろな料理に使っていますが、やさしい味で美味しいです。

(田野支所・72歳)

▼CMは三山さんのビタミソックスが響いていますよね、ついつい、一緒に歌ってしまいます。我が家はすでに、3本目突入しました！

もうすぐ千両の収穫で忙しくなるので今から気合を入れて頑張ろう！  
(吉良川支所・61歳)

▼千両の収穫や出荷作業、大変お疲れ様でした！皆さんのおかげで、今年のお正月も千両を飾って、気持ちよく新年を迎えられました。「花のある暮らし」の写真がいつも綺麗で癒されます。切り取って飾ることもあります。

(安田支所・92歳)

▼お店ごとに違ったアレンジが本当に素敵ですね。飾っていただけで、嬉しいです！

毎月、女性部のレシビを楽しみにしています。「こうぐり」に載っているレシビや旬の農産物で、季節の変化を感じられるのが好きです。

(安田支所・36歳)

▼「こうぐり」を制作していると、高知県は本当に豊かな農産物に恵まれているんだなと感じます。今年も、どんな出会いがあるのか楽しみです！

## 広報のつぶやき

新年、あけましておめでとうございます。皆さん、今年はどうな年にしたいですか？11月に女性大学で観光列車に乗って、つかの間の旅行気分を味わいました。車窓からの景色や美味しい特産品、地域の人のおもてなしに触れ、とてもリフレッシュできました。やっぱり旅行はいいですね。今年も、旅行がてら県外の友人たちにも会いに行けたらいいなと思っています。  
(竹村)

## INFORMATION

# お知らせ

## 「高知なす」PRイベント 協賛企業様のご紹介

11月12日に開いた「高知なす」PRイベント「三山ひろし『高知なす』を食す！」につきまして、地域の企業様からの協賛により開催することができました。協賛いただきました企業様には、心よりお礼申し上げます。



小松泉建築、岡田建築板金、昭和産業株式会社、株式会社高橋組、日之出産業株式会社、有限会社竹崎組、株式会社高知前川種苗、有限会社島津種苗、株式会社DIK四国、吉永文明司法書士・行政書士事務所、有限会社秋山木工場、有限会社梶原建設、山和木材株式会社、有限会社カンバラ鉄工、ヤンマーアグリジャパン株式会社香南支店、マル政仕出し店、おたすけ隊 ヨコタ、有限会社立仙種苗店、株式会社相愛、有限会社戸梶建設工業、有限会社有光電設、諏訪商事株式会社、株式会社アサヒカガク安芸営業所、えーやん芸西、清遠園芸

## 税務相談日

令和4年1月12日(水)・2月9日(水)

会 場 あき支所3階

時 間 10:00～16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組員課 0887-34-1515